

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	地域の自治会を通じて、避難訓練への参加の呼びかけが、出来ていない。	防災避難訓練において、地元消防団や、地域住民の方々と連携し、訓練を行っている。	運営推進会議を活用し、地元消防団や、地域住民との連携を働きかける。避難場所の確保として、公共施設(公民館・学校等)の利用をお願いする。	12ヶ月
2	8	人権擁護に関する資料や研修が整備されていない。	パンフレットを整備し、研修会等にも参加をして職員全員が学ぶ機会を持ち、利用者へ十分に活かせるよう、知識を身につける。	グループホーム協議会にて研修会を行ってもらうように働きかける。内部研修会も日時を決め行っていく。資料は、役場等を利用し整備する。	12ヶ月
3	14	職員等に対する、人権教育、啓発活動への取り組みが、行われていない。	パンフレットを整備し、研修会等にも参加をして職員が学ぶ機会を作り、知識を身につける。	パンフレットを整備する(図書館等を活用する。)ビデオ等も図書館にあるので、利用する。グループホーム協議会をお願いをする。(研修会の働きかけをする。)	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月